

子どもが分かる

対話学習の 指導の具体的 手立て

「教授学」大公開

山口学芸大学大学院 教授 榎原 昭徳



陶冶(とうや)と訓育(くんいく)の理論

教育学の中に、陶冶と訓育の理論があります。

「陶冶」……授業の中で習得する知識・技能・認識などの
学習内容の習得にかかわる教育

「訓育」……遅刻・私語・忘れ物をしないで本気で真面目
に努力して学び取るなどの人間らしい生き方
の教育

この2つが機能して、初めてまっとうな教育となります。

若手教師には、学年始めの授業を指導する上で共通の「3つの悩み」があります。それが**授業での「遅刻・私語・忘れ物」**です。3つとも、“学習内容の学習”以前の問題です。

授業の秩序づくり (▶ 29 ページ参照)

「遅刻」



授業開始の定刻
になっても授業
が始まらない
状態。



「私語」

子どもたちの勝手気ままな話し
声に妨害されて、学習が成立
しない状態。



「忘れ物」

学習に必要な用具や服装が
そろっていないために、授業
参加できない状態。

「教授学」という学問

教科を直接の研究対象とする学問としては、〇〇科教育学
ないしは、〇〇科教育法があります。小学校教育を例にとると、
11の教科に対応する「教科教育学」があることになります。こ
れらの教科教育学に対して、「教授学」とは、下図の太い線に囲
まれた部分に位置づいています。

ここでいう「教授学」とは、各教科の枠を超えて、どの教科の
授業にも共通する基礎的な指導事項に留意しながら授業指導
を進める「一般教授学ないしは共通教授学 (die allgemeine
Didaktik)」を指しています。各教科の授業を成立させ、**子ども
の主体的な学習活動を発展させるために**、授業の基礎的
部分を串刺しにする共通事項の指導に一貫性をもたせながら、
各教科授業を指導するという考え方の学問なのです。

「教授学」とは…?

道徳科教育学	外国語科教育学	体育科教育学	家庭科教育学	図画工作科教育学	音楽科教育学	生活科教育学	理科教育学	算数科教育学	社会科教育学	国語科教育学
--------	---------	--------	--------	----------	--------	--------	-------	--------	--------	--------

一般教授学 (共通教授学)

それでは、具体的な実践を通して、**次のページへ**
見ていくことにしましょう。

筆者紹介

- 1945年生まれ。広島大学教育学部小学校教員養成課程卒業後、同大学院で教育方法学・授業研究を専攻(修士課程修了)。
 - 1971年広島県安芸郡府中小教諭となり3・5年を担任。
 - 1973年より広島大学附属小で1〜6年、2年を担任。
 - 1980年より新見女子短大講師。1985年山口大学教育学部。
 - 2009年より山口学芸大学で「教育方法、生活、生活科教育法、特別活動(小)」、同大学院で「小学校授業実践特論」などを担当、現在に至る。
- 山口市朝倉町7-55、在住。

山口学芸大の「2018年 小学校教員就職率56.06%」は兵教大、上越大に次ぐ
全国3位。2018年卒業率98.6%、退学率0.0%もトップクラス。この数値を支え
るのは平素の授業への出席率の高さ、欠席率・遅刻率の低さである。

2019年後期、筆者担当の学部1年「生活」講義(84名)の2019年12月末までの
14回講義の出席率は99.1%、のべ欠席数は11名(欠席率0.9%)。14回講義の
「のべ遅刻者」は2名。学生による日直(2019年よりオリエンター)の主体的活動が、
高い講義出席率と低い欠席率・遅刻率を支える。